

登録団体活動紹介

名取天文台



初の学生団体受け入れシステム構築

平成 29 年度開始の西松建設まちづくり基金「なとりこどもファンド」採択からスタートした仙台高等専門学校(高専)の学生 5 人で作った市民活動団体「名取天文台」。各種助成金やクラウドファンディングなどで資金を確保し、活動の幅を広げています。

「名取天文台」は、名取市には、天文台や博物館、科学館という体験型の教育施設が無いことから、無いなら自分たちで天文台を作ろう！と、移動型プラネタリウムとドームを手作りし、普段遠い存在の宇宙・星空が子ども達に身近な存在になるように活動しています。これまでに公民館やイオンモール名取を会場に 1,000 人を超える親子に体験を通じた学びの場を提供してきました。



自作投影機



手作りドーム

新型コロナウイルスとの対峙

新企画として予定していた天体観望会も、新型コロナウイルス感染防止の観点から断念せざるを得なくなってしまいました。しかし、出来ない環境でも出来ることを探しオンライン観望会に切り替えて開催したところ、北海道から沖縄まで全国からの参加があり、活動範囲を広げる結果となりました。河北新報にも学生団体の活動は大きく報じられました。オンライン観望会は、Youtube ライブで配信しています。(Youtube チャンネル「名取天文台 広報」で検索) また、企業の支援と教育委員会の後援を受け、体験型学習への取り組みが「宇宙 おもしろずかん」という小冊子にまとめられ名取市内の全小学校への配布(年 4 回)が実現しています。



デザインから自作の小冊

団体が持つ使命感

彼らの活動目的は、学ぶことの楽しさを知ってもらう事です。そのきっかけの一つを宇宙と考えて多様な企画を打ち出しています。よく出題するクイズも知識を増やすだけではなく選択問題を作り、想像力や発想力を身に付けて貰えるよう工夫されており広い意味での人財育成も視野に入れています。

会長の畑中駿平さんは、「全員学生だからと注目され、やっているだけで褒められたり・・・。一方で、20 歳未満という事で責任を伴う全ての事象に一定の制限があり大変でした。でも、だからこそ企業や行政などたくさんの方々を支えられて活動を継続できていることを実感でき、本当に感謝しています。」と笑顔で語ります。

最後に、なとらじ (FM80.1 MHz) で「名取天文台の COSMO Caf é」を毎週木曜日 21:00~21:30 に放送しています。太陽系や天体、宇宙飛行士等の宇宙に関するホットな話題を提供しています。皆さんの感想や質問コーナーへの投稿を待っています。



「名取天文台の COSMO Caf é」出演中 右端：畑中会長

問合せ先 名取天文台

Mail : natoritenmonndai@gmail.com

Twitter : @snct_planetana

Facebook : 名取天文台